

現場を見上げる新田所長。
すでに躯体は完成、竣工まで
あとわずかだ



創意工夫に富む現場の取組みやマネジメントの最前線を追う!!

入社7年の若手所長 自ら成長し、また後輩育成で 人材の底上げを担う 葛西・SマンションⅢ 新築工事

工事概要	
工事名	葛西・SマンションⅢ 新築工事
工事場所	東京都江戸川区中葛西3丁目
設計者	高松建設一級建築士事務所
施工者	高松建設株式会社
工期	2019年12月25日～2021年1月29日
建物規模	鉄筋コンクリート造、8階建て 建築面積：190.56㎡ 施工床面積：1297.94㎡



竣工写真
(提供：高松建設株)

「建設現場の所長は経験豊富なベテラン」…。そんなイメージは過去のものになりつつある。高松建設では、ある程度現場勤務を重ね資格を取得した係員を、早い段階から所長として積極的に登用してきた。今まさに最前線でマネジメントを経験している若手女性所長に話を聞いた。

**二九歳で所長着任
同期にも所長が二名**

「本音を言えば、ちょっと早いかな。もう少し現場係員として勉強したい気持ちもあった、というのが正直なところですよ」

東京都江戸川区で建設中の賃貸マンション「葛西・SマンションⅢ」。現場を率いる新田亜紀所長は、高松建設(株)入社六年目で初めて所長に命じられた時の偽らざる心境を話してくれた。

「とはいえ、私がおもこの会社を志望したのは『若い人でも所長になれる』と聞いていたからなので、そんなに驚きはなかったです。当社では、五年目以降で1級建築施工管理技士に合格したら、そろそろ所長になるタイミングなので、同期入社を受ける立場となり、現場内で起きることを常に俯瞰的に見渡す必要が生じるようになった。

「自分の仕事一点に集中するといふより、すべてを確認することになるので、最初はその切り替えに苦労しましたね。ただ、上司や先輩に気軽に相談できるので、心細いということはなかったです」

新田所長の上長である、東京本店工事本部の大垣敏弘部長は、相談を受けた時のことを次のように振り返る。

「当現場は敷地が狭いので、資材だけを上に揚げるためのリフトを計画していました。でも新田所長は、限られたスペースを工夫し、人も乗れるロングスパンエレベーターを提案してきました。『ここをこうすれば設置できる』と。これにはちょっと驚かされましたね」

現場は住宅が密集する市街地で、近くに高圧電線の鉄塔があり、搬入・揚重に際しても様々な制約があったが、新田所長自身の経験則から生産性向上のための策を講じることができたという。

「協力会社さんが、狭いところでも設置できる揚重機を持っていると聞いて、スケジュールを押さえてもらってから大垣部長に掛け合いました。職人さんもちろん楽になったと思いますけど、まず私自身が八階を階段で昇り降りしたくなかったの(笑)。これは私が所長だからできたことかも知れません」

「建設現場の所長は経験豊富なベテラン」…。そんなイメージは過去のものになりつつある。高松建設では、ある程度現場勤務を重ね資格を取得した係員を、早い段階から所長として積極的に登用してきた。今まさに最前線でマネジメントを経験している若手女性所長に話を聞いた。

**二九歳で所長着任
同期にも所長が二名**

「本音を言えば、ちょっと早いかな。もう少し現場係員として勉強したい気持ちもあった、というのが正直なところですよ」

東京都江戸川区で建設中の賃貸マンション「葛西・SマンションⅢ」。現場を率いる新田亜紀所長は、高松建設(株)入社六年目で初めて所長に命じられた時の偽らざる心境を話してくれた。

「とはいえ、私がおもこの会社を志望したのは『若い人でも所長になれる』と聞いていたからなので、そんなに驚きはなかったです。当社では、五年目以降で1級建築施工管理技士に合格したら、そろそろ所長になるタイミングなので、同期入社



高松建設株式会社
葛西・SマンションⅢ 新築工事
所長(課長)
新田 亜紀 Aki Nitta

でもすでに三人が所長になっていましたよ」

現場係員から所長になって、大きく変わったことは？

「当たり前ですが…今までは上司から言われたことだけを部分的に見ていれば良かったのが、所長になって全体を見なければいけなくなり、視点が変わったということですね」

係員ならば、自分の担当業務で気付いた点を所長や上司に報告すれば良かったのが、今度はその報告

所長自ら現場を見回って、
改善点を探すことも忘れない



現場外観。写真左
奥の鉄塔から高圧
電線が伸びており、
クレーン作業の際に
高さ制限に注意する
必要があった



後輩係員とともに技能者と打ち合
わせ。情報共有の大切さを自ら行
動で示す

相談できる環境で責任を担う
所長としての成長が、
次代のリーダーを育む



上／狭い敷地の中で重機や資材をどのように配置するかは所長のマネジメント力にかかっている
左／新田所長を支える4年目の桑原係員(写真左)と2年目の小林係員(写真右)



高松建設株式会社
東京本店 工事第三本部 工事2部
部長
大垣 敏弘 Toshihiro Ogaki

「当社には、新田所長のように六
〜七年目で所長になり、困ったり
迷ったりした時には、各関連部署や
諸先輩などに相談できるといふ風
士があります。所長になったからと
いって決して全責任を一人で負わ
なければいけないわけではありません。
ん。もちろん安全第一で品質や工期
を守る使命はありますが、自分の裁
量でやりつつ、サポートしてもらえ
る環境が整っています」
新田所長に、これから心掛けてい
きたいことや抱負を伺った。
「今回は前の現場の反省を生かし
て、職人さんとの接し方や取引先と



休憩中のコミュニケーション。所長になる以前から顔なじみの技能者も多く、年齢差はあるが関係は良好だ

後輩と、設計担当と…
所長としての「立ち回り」

事務所には、新田所長より若い係
員が二人勤務しており、交代で休
みを取りながら現場を運営している。
二人について、新田所長はこう語る。
「初めて所長になった時は『何で
も自分でやらなきゃ』という気持ち
が強すぎたのか人任せにできず、残
業も増えてしまったんです。今はな
るべく二人に仕事を振るようになっ
ています。そのほうが彼らの育成にな
るし、私の負担も減るので。二人と
も意欲的で吸収も早く、私がアドバ
イスした方法に彼らなりの考えを加
えてやつてくれています」
この物件は、名前に「Ⅲ」が入っ
ているように、依頼主にとって三棟
目のマンション。過去二棟も高松建



高松建設株式会社
東京本店 設計本部 設計第2本部 第4部
課長
高梨 佳奈 Kana Takanashi

設が設計・施工を手掛けてきた。
今回の設計を担当した東京本店設
計本部の高梨佳奈課長は、施工の
責任者としての新田所長をこう評
価する。
「お施主様とは長くお付き合いを
させていただいているんですが、今
回、若い所長だということ当初は
少し心配に思われたみたいなん
です。でも、定例会議などを重ねてい
くうちに信頼されるようになりまし
た。彼女は設計の私から見ても、自
ら動くタイプで細かいことによく気
が付きます」

若手を所長に抜擢した後の会社
としてのフォローについて、大垣部
長はこう補足する。

の交渉など、レベルアップができた
ので、次の現場では更に改善したい
と思います。あと、私がこれまでに
見てきたすごい所長たちは、図面を
少し見ただけで納まらないことに気

付いたり、工程表においても効率の
いい段取りを考えたりして、働きや
すい環境を構築されていました。私
もそういう「察知能力」の高い所長
を目指したいですね」

Webサイト「WorkStyle Lab」で動く現場を見よう!!

建設業界の働き方改革を伝えるサイト「WorkStyleLab」では、「現場イノ
ベーション」と連動したコンテンツを随時掲載中です。取材先の更に詳しい取組
みやこぼれ話など、誌面に載せきれ
なかった内容を動画などで紹介し
ます。所長さんや副所長さんなどの
想いを生の声で、また実際の工事
現場の様子を臨場感あふれる動
画でぜひご覧ください。たくさん
のアクセスお待ちしております。



WorkStyle Lab
<https://www.nikkenren.com/2days/workstylelab/>



設計担当・高梨課長と室内をチェック。「一緒に仕事をしたのは今回が初めてですが、とてもスムーズに進められました」と、高梨課長